

平成 24 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	評価責任者 (基本施策主管課長)	教育委員会スポーツ振興課長 松本 和久
生活課題	子どもからお年寄りまで、気軽にスポーツを楽しんでいる		生活課題に対する満足度 H27目標値	63.0 %

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	意欲
	政策	生涯を通じて生きがいがあるまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>必要度については、市民生活になくはないものであることを表している。しかし、満足度がかなり低いのはスポーツに親しむ環境が整備されていないのではないかと考えられる。スポーツは健康で明るい生活を送るための重要な手段であることの啓発を強化すると共に、スポーツに親しむ機会づくり並びにスポーツ施設の整備を引続き行っていく必要がある。</p> <p>参考   満足度（満足意識） 40.7 %      必要度 76.4 %</p>
③	基本施策の現状と課題	<p>①マラソン大会は年々参加者が増加してきているため、現行会場では収容の限界であり開催日を含めて検討が必要となってきている。また、スポーツフェスティバルは参加者数が減少傾向にあり、種目の変更や住民自治協議会での取組みの強化が必要である。</p> <p>②青少年を含むスポーツ人口の拡大と青少年健全育成並びに競技力の向上のための取組みを強化する必要がある。</p> <p>③全国中学校体育大会の新体操競技がゆめドームで開催されるため市として支援が必要である。</p> <p>④スポーツ人口の底辺拡大のため、市民ニーズの高いスポーツ教室を開催すると共にスポーツ推進委員の資質向上が必要である。</p> <p>⑤ゆめが丘多目的広場の人工芝生化的のために財源確保と地元の理解を得る必要がある。</p> <p>⑥老朽化が著しい上野運動公園野球場を改修し安心して快適な環境を利用者に提供する必要がある。</p>
④	基本施策の意図、今後の展望	子どもからお年寄りまで、気軽にスポーツを楽しんでいる状況を実現するために、だれもが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを目指す。

⑤ 基本施策指標（総合計画数値目標）

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度			目標値	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
1 スポーツ・レクリエーション施設利用者数	目標	270,400.0	275,000.0	280,000.0	280,000.0	282,000.0	市のスポーツ施設利用者数	
	実績	322,260.0	318,161.0					
	達成率	119.2	115.7					
2 スポーツ指導者数	目標	565.0	565.0	563.0	570.0	579.0	スポーツ推進委員、スポーツ指導者、日本体育協会公認指導員、スポーツ少年団指導者、レクリエーション指導者の合計数	
	実績	542.0	567.0					
	達成率	95.9	100.4					
3 総合型地域スポーツクラブ数	目標	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	平成21年度までに結成されたクラブ数	
	実績	9.0	9.0					
	達成率	90.0	90.0					
	目標							
	実績							
	達成率							
	目標							
	実績							
	達成率							
	目標							
	実績							
	達成率							

⑥ 基本施策構成事務事業の評価

基本施策を構成する事務事業名	担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			基本施策貢献順位
					H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額	
1 教育委員会スポーツ振興課		869-1	スポーツ活動振興事業	有	27,659	28,658	28,659	3
2 教育委員会スポーツ振興課		869-2	スポーツ活動振興事業	無	26,160	26,160	26,160	4
3 教育委員会スポーツ振興課		869-3	スポーツ活動振興事業	無	0	0	5,100	6
4 教育委員会スポーツ振興課		870	スポーツ教室等の開催事業	有	17,666	17,721	17,721	5
5 教育委員会スポーツ振興課		2444	上野運動公園野球場改修工事	無	0	0	114,750	1
6 教育委員会スポーツ振興課		2449	ゆめが丘芝生広場改修工事	無	0	0	189,756	2
7								
8								
9								
10								
（ 以 下 続 紙 ）								
事業費合計					71,485	72,539	382,146	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業（総合計画実施計画の期間内に実施を予定する事業）

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	スポーツ人口の拡大を目指して3つの指標を設定した。施設利用者数については、現行施設の整備・改修を進めることでさらに増加するものとする。スポーツ指導者を増やすことでスポーツ人口の拡大につながるものとする。総合型地域スポーツクラブについては、地域でのスポーツ振興に寄与する組織と考えている。
2 事業構成の適当性（手段として最適か？）	施設の整備・改修を進め、市民ニーズの高いスポーツ教室を開催してスポーツ人口の拡大を図り、スポーツイベントを開催することでスポーツ振興に寄与できることから、事業構成は有効と考える。
3 役割分担の妥当性	スポーツイベントは実行委員会を組織して企画運営しており、体育協会・スポーツ推進委員・自治組織・行政等が役割分担して携わっていることから妥当と考える。
4 総合評価（今後の方向性、事業の見直しについて等）	「人が輝く地域が輝く」市の将来像実現のためスポーツの持つ役割は大きく、施策の実現のためにそれぞれの事業を推進していく必要がある。平成24年度から市独自のスポーツリーダーバンクを立ち上げたことにより、学校のクラブ活動を含めたスポーツ指導に貢献できるものと考えている。市民スポーツフェスティバルは市民が一堂に集う唯一のスポーツイベントにもかかわらず、参加者数が減少傾向にあるため種目の変更や住民自治協議会での取組みの強化を図っていく必要がある。